

横浜キャンパス

クラブイベントの開催で学外にも活躍の場を拡げる

ダンス部 LAVI



顧問：川村 久美子(情報メディア学科 教授)

学生責任者：山内 靖文(都市生活学科3年)

部員数：29名(うち女子部員10名)

主な活動

4月 スプリングフェスティバル/新生歓迎会

6月 TCU横浜祭

8月 合宿

9月 クラブイベント

11月 TCU世田谷祭

2月~3月 クラブイベント

学園祭とクラブイベントで 学内外に存在感をアピール

横浜キャンパスで活動するダンス部「LAVI(ラビ)」は、数年前に部活動に昇格したばかり。

「僕が入学する1年前に部に昇格しましたが、それ以前も同好会として長い活動歴があります」と語るのは部長の山内靖文君(都市生活学科3年)。創設は1997年までさかのぼるそうです。

彼らが没頭するストリート系のダンスには、ブレイクダンス、ヒップホップ、ロック、ハウスといったジャンルがあり、部員それぞれが数名のチームを作って日々練習に励んでいます。

「6月のTCU横浜祭、11月のTCU世田谷祭での発表も大きな舞台ですか、僕が1年のときにクラブイベントを始めました。これは年に2回、クラブを借り切ってダンスイベントを行うもので、お客さんはすべて外部の人。大学祭とはまた違った緊張感と楽しさがあります」(山内君)

真剣にダンスに取り組む彼らの練習はかなりハード。横浜キャンパスのトレーニングルームを使った練習は月・水・土の週3回ですが、個人練習やチームごとの練習も熱心に行っているそうです。1歳半から水泳を続けているという荻田涼君(エネルギー化学科3年)は「僕がやっているハウスというジャンルはステップを激しく踏むので体力勝負。今も高校の水泳部の合宿に参加して体力維持に努めています」という

から、並大抵の打ち込み方ではありません。

山内部長が「ダンスエリート」と表現する1年生のホープ・長濱俊君(情報メディア学科)も「小学校1年から自主的にダンスを始めました。厚木の自宅から新宿の教室まで通っていたのですが、最初はスキップすらできなくて(笑)。高校のときはダンス部がなかったのでやむなく体操部に入りましたが、他の高校のダンス仲間が部活を楽しんでいるのがうらやましくて。だから大学では部活動として目いっぱいやりたいと思っています」と意欲的です。

見た目は草食系でも ダンスにける情熱は肉食系!?

一方で「初心者歓迎」を掲げるLAVIには大学からダンスを始めた部員も。「友だちに誘われてLAVIに入ったのですが、最初は人に見られながら踊ることに羞恥心があって大変でした。中学ではソフトテニス、高校でバレーボールを経験しましたが、どちらも複数で戦うスポーツなので、試合中に注目されて恥ずかしいということはありませんでしたから」と当初の戸惑いを語ってくれたのは、都市生活学科2年の外山里美さん。

同じく大学からダンスを始めた有村将希君(情報メディア学科1年)は「高校のときはダンスミュージックが好きでDJに興味があったため、すぐダンスのうまい友人と一緒に文化